

富士山憲章 NewsLetter



No.143

第21回 富士さんへ謹賀新年

～富士山あて年賀状～ 入賞・入選作品決定！

－美しい富士山を守り、未来へ引き継いで行くために－

富士山レンジャー活動報告

－環境学習会、新任レンジャー紹介など－



本編目次

富士さんへ謹賀新年 1

富士山憲章News..... 3

富士山レンジャー活動報告... 4

フリーコラム、環境学習会、

新任レンジャー紹介 5

富士山世界遺産センター

だより24号..... 7

おしらせ..... 9

(写真提供 山梨県富士山レンジャー)

第21回 富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～

富士山ボランティアセンターでは、富士山の環境保全に向けた意識を高め、美しい富士山を将来にわたり引き継ぐことを決意した「富士山憲章」の普及定着を図るため、富士山にあてた年賀状を募集しました。21回目を迎え33都道府県と海外から1277点の応募があり、厳正な審査の結果、最優秀賞3点、優秀賞6点、審査員長賞1点、審査員特別賞4点、企画力賞2点、表現力賞2点、メッセージ賞2点を含めた、入選200点を決定いたしました。たくさんのご応募、誠にありがとうございました。

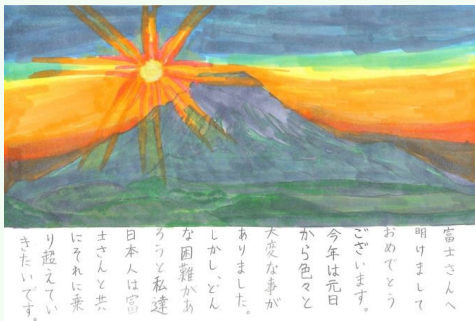
審査員

審査員長	櫻井 孝美	氏(安井賞受賞画家)
審査員	松島 仁	氏(静岡県富士山世界遺産センター 教授)
	五十嵐 哲也	氏(山梨県産業技術センター富士技術支援センター 主幹研究員)
	秋本 梨恵	氏(山梨県産業技術センター富士技術支援センター 主任研究員)
	田所 良通	氏(山梨県立美術館 副主幹)
	土屋 淳	氏(山梨県立富士山世界遺産センター 副所長)

審査員総評

- ◆今回は総じてメッセージを表現する作品が多くあり、それは富士山に新たな一年の夢、希望を託したいと願う意味だろうと思う。また、ハガキサイズの小画面の中にあふれる作者の創作が充分読み取れる力作、秀作ぞろいだった。
- ◆戦争や災害が蔓延する困難な時代、日常の平安を希求するような穏やかな作品が目についた。
- ◆元日の震災や海外の戦禍が影を落とす中、富士山に平安を願う作品や、日常の大切さを描いた作品が印象に残った。
- ◆小学生低学年以下の作品には、特に自由な発想や表現が見られ、中・高校生の部、一般の部では技術の高い作品が多くあり、メッセージも興味深い作品が多かった。絵具を使った作品が減っているが、逆に相対的に色の強い作品がよく見えるように感じた。
- ◆応募者は本当に富士山が好きなんだと思った。心の支えにしていたり、富士山に対して願いがあったりと、富士山の山肌や空気、周囲のことを感じながら描かれた作品から、人の心に富士山は「在る」のだと思った。
- ◆富士山世界文化遺産登録10周年記念に合わせた前回の募集数より減ったものの、例年通りの力作揃いであつた。グラフィックな作品もあつたが、やはり年賀状には手作り感が求められているのかと感じるほど、手を使って製作された作品が多かった。

最優秀賞



久保 友乃
(東京都/中学生・高校生の部)

- ◆色彩のハーモニーに心の安らぎを感じる幸せにあふれた作品。
- ◆曙光の鮮やかさ、力強さが目を射る。
- ◆シルエットになった富士山とその肩越しに輝く太陽のコントラスト、空の光の美しさが見事な作品。



岩佐 夏帆
(山梨県/小学生以下の部)

- ◆布地風で富士山をやわらかく表現し、色彩の美しさ、斬新なアイデアは秀作。
- ◆色とりどりの布をドレスにした富士山の可愛らしいポーズが、とてもキュートで魅力的な作品。



犬塚 由美子
(山梨県/一般の部)

- ◆街中の富士。穏やかな構図に柔らかな色感。いつもの富士の安心感が温かい作品。
- ◆控えめな淡い富士山が遠景となり、人々の小さな暮らしを静かに見守る風景に日常のかけがえのなさが感じられる。

優秀賞



飯田 千陽(静岡県)



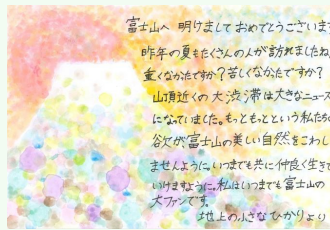
長谷部 唯(山梨県)



内田 輝人(大阪府)



内田 智宙(大阪府)



山内 ひかり(山梨県)



大澤 翔(神奈川県)

審査員長賞



高橋 愛海(東京都)

審査員特別賞



飯田 陽大(静岡県)



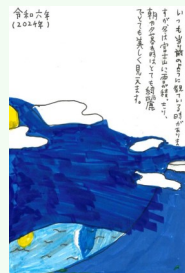
米山 愛梨(山梨県)

◆そびえ立つ富士。頂上は白い雪におおわれているが、朝日に照らされてオレンジ色に染まっている。白い光線が希望の未来を思わせ、青緑の色が生命力を思わせる作品。

表現力賞



忍山 実美花(神奈川県)



石原 優羽(山梨県)



林 佩欣(台湾)

企画力賞



笹岡 桂子(奈良県)

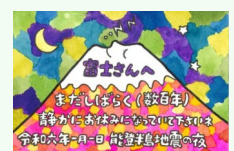


渡辺 和徳(広島県)

メッセージ賞



渡邊 れみ(山梨県)



杉山 しげ行(新潟県)



鈴木 要(京都府)

富士山憲章ニユース

「富士山ボランティアセンター」

富士山ボランティアセンターを運営している富士山憲章山梨県推進会議は、山梨県と富士山北麓地域の7市町村（富士吉田市、西桂町、忍野村、山中湖村、富士河口湖町、鳴沢村、身延町）、2つの恩賜林組合（富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合、鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合）で構成されており、平成10年に山梨・静岡両県で制定した「富士山憲章」の普及啓発や、富士山の環境保全と適正利用を推進する活動を行っています。

第21回富士さんへ謹賀新年

「富士山あて年賀状」

入賞・入選作品 決定！

富士山の環境保全に向けた意識や関心を高め、美しい富士山を将来にわたり守り引き継ぐことを決意した「富士山憲章」の普及定着を図るため、富士山にあてた年賀状を募集しました。

前回の入賞・入選作品巡回展は、富士山世界文化遺産登録10周年を記念したことや、外国人観光客の来訪もパンデミック前に戻りつつあり、たくさんの方にご覧いただきました。外国の方にも、富

士山の環境保全運動の原点となる「富士山憲章」の理念に関心を持っていただけけるよう、審査員講評パネルの一部に富士山あて年賀状のコンセプトや「富士山憲章」行動規範を、「英語」「中国語」「韓国語」にて掲示しました。その中、海外の懸賞サイトに、「第21回富士さんへ謹賀新年」「富士山あて年賀状」「作品募集」が紹介されました。これまでも日本国内に在住の外国の方から応募いただきましたが、直接海外からも応募いただきました。



一次審査の様子



最終審査の様子

令和6年2月15日（木）、富士山ボランティアセンターHPにて入賞20点を含む入選200点を発表。同日、山梨県立富士山世界遺産センター南館で「第21回富士さんへ謹賀新年」「富士山あて年賀状」「入賞・入選作品巡回展」をスタートしました。



山梨県立富士山世界遺産センター 南館

今後の展示会場、日時はHPでも確認いただけます。この機会に是非ご覧ください。

富士山環境保全募金箱

富士山ボランティアセンターでは、富士山の環境保全募金のご協力をお願いしています。お寄せいただいた募金は、富士山の環境保全の費用として大切に活用させていただきます。募金箱の設置

場所は、富士山ボランティアセンターHPでご案内しています。また今月から募金箱をリニューアルしました。今回もカラマツから作られた募金箱です。カラマツは日本で自生する唯一の落葉樹です。新たに設置いただける施設、お店などございましたら、富士山ボランティアセンターにご連絡ください。



間伐材の有効活用は健全な森林の保全という役割を担っています。

また富士山ボランティアセンターのHPでは、未来を担う小学校高学年向けに「富士山憲章」の主旨や富士山の保全について学ぶことができる「富士山憲章ワークブック」をダウンロードできる他、清掃活動用のゴミ袋や軍手を無料で配布しています。ご興味がある方、富士山の保全や山麓地域で清掃活動を検討されている方は、お問い合わせください。
(<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/>)



2023年7月～2024年1月 富士山レンジャー活動報告

ナラ枯れミズナラ伐採

令和2年のニューズレター133号にも記載しましたが、令和2年9月に、富士山レンジャーが北麓地区のナラ枯れ調査に協力しました。そのとき国立公園特別保護地区にある大室ブナ広場のシンボルである、ミズナラの大木もカシノナガキクイムシの被害に遭っていました。山梨県では、ミズナラを伐採し、木材として有効活用する方針を決めました。木材の活用方法は、実際に伐採した状態を見てから判断することになり、令和5年9月13日(水)、伐採に先立ち神主による安全祈願が行われ、翌日から伐採作業が開始されました。



ミズナラの伐採作業を見つめるレンジャー

毎週のように大室ブナ広場を巡回し、見ていたミズナラが倒される様子を目にして、寂しい気持ちにはなりましたが、世の中に出て有効に活用されることになるなら、それも良いのではないのでしょうか。

富士山麓古タイヤ等 不法投棄防止集中キャンペーン



道の駅周辺のゴミ拾いをする参加者

11月11日(土)道の駅富士吉田にて開催しました。山梨県や北麓市町村、自動車整備振興会、周辺企業等関係者が参加し、道の駅利用者の方々に啓発物品を配り、不法投棄防止を呼びかける活動と、道の駅周辺の清掃活動を行いました。回収したゴミの総量は、可燃9kg、不燃7kgでした。富士山レンジャーは参加者のアシ

ストをしたり、不法投棄の写真パネルを展示し解説しました。なかなかゼロにならない不法投棄ですが、人々に現状を知ってもらうことが、一人ひとりの「一歩」につながると良いと思いました。

富士山青木ヶ原樹海等 エコツアーガイドライン推進協議会

12月14日(木)、山梨県立富士山世界遺産センター研修室で開催されました。青木ヶ原樹海などの自然環境を保全し、



エコツアーガイドライン推進協議会の様子

適正に利用することが目的で、対象エリアを利用する団体・事業者と学識経験者、関係行政機関がメンバーです。毎年1回の協議会で新しく加入した事業者の承認や、各団体の活動状況報告、ガイド

ラインの遵守状況の確認をしています。富士山レンジャーは、樹海での巡回記録をまとめ、利用状況や問題行為の有無などの報告をしています。

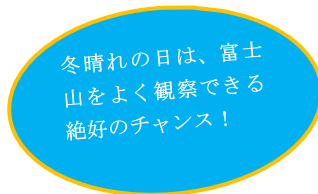
冬山安全登山啓発



出発の準備をしている登山者たち

毎年厳冬期、山梨県と山梨県警で富士山の登山口「馬返」にて冬山指導を行っています。シーズンに六～七回は富士山レンジャーも一緒に実施します。

登山届は出したか、きちんと計画がされて十分に装備しているか、などを聞き取り、危険を感じたら直ちに計画を中止するよう呼びかけています。ひとりひとりの命を大切に。



如何でしたでしょうか？今回は続いて、それぞれの湖からの富士山の特徴と見分け方を紹介します（赤い矢印参照）。

①本栖湖・・・右（西側）に「大沢崩」、左下に側火山の「大室山」。

②精進湖・・・写真は「三方分山」方面から。正面奥に「大室山」（いわゆる子抱き富士の構図）と手前には湖に流れ込んだ溶岩流の跡が見えます。

③西湖・・・東岸、西岸からは富士を拝めず、北西側に回り込んでくると、手前に横たわる「足和田山」の向こうに富士の姿が段々見えてきます。

④河口湖・・・写真は「御坂黒岳」から眺めたところ。向かってに右側（西）、長く伸びる裾には、ポコポコという感じで「側火山」が列をなして連なっている様子を観察することができます。

⑤山中湖・・・右側（西）の中腹には、「小御岳火山」、左側（東）の中腹部には「宝永火山」が、それぞれ出っ張ってみえます。噴火活動によって植生が破壊された部分は、冬、下の方まで真っ白な雪姿になります。

シンプルに表現されることの多い富士山。異なる角度から観察すると、その下には複雑な形成過程が秘められていそうです。ぜひ特徴に注目して、面白い発見を試みてください。

風景のデザイン

◆野原を歩いていて「この草があるなら、そばにあの花があるはず！」と気付いたことはないですか？思った通りに植物が配置されていると、やっぱりこの組み合わせだ！とうれいものですが、じつは植物にとつてそれはすごく当然のことなのです。

植物の生まれ持った性質が

その「風景」を作る

◆植物はそれぞれの好みの環境を持つています。乾燥している・・・湿っている・・・日向・・・日陰・・・すると、同じ好みを持つ植物同士は、同じ環境に集まって植物の社会を作ります。同じ環境を好む植物の共同体（群落）です。この植物たちの「共生の法則」によって、環境ごとに特徴ある「風景」ができあがるというわけです。

では、噴火によって誕生した火山・富士山には、どんな植物の風景がみられるでしょう？

厳しい環境を、

「寄り合い」で乗り切る

◆水分や養分に乏しく、そして土壌の安定しない火山荒原には、緑の「パッチ」

状群落があちこちにみられます。小さな布を継いで作るパッチワークという手芸がありますが、その「パッチ」です。ハンノキやカラマツ、その根元にはオンタデやイタドリ、コケモモなどが寄り合つて、パッチを形成しています。この寄り合いは植物の生き残る知恵です。



◆オンタデやイタドリは、不安定な火山性の土壌に根を深く張り、地盤を安定させる役目をします。そこへ、カラマツなどの樹木が根をからめ、その葉や枝の屋根で厳しい風や雪から守られて、コケモモなどの低木や草本が定着する・・・こうしてできた群落は富士山の「パッチ」です。このように他の植物の助けになる植物を「ナースプラント（看護植物）」と呼んだりしますが、寄り添い合い、お互いを助け合つて厳しい環境に耐える共同体を見ていると、「ナースプラント」と呼びたくなります。ナニとは、英国発祥の職業で、お母さんに代わって子供を守り育てるプロのことです。

自然の定めによって社会をつくる植物たちの見事な配置には、いつも感心させられます。

富士山レンジャー、環境学習会絶賛開催中！



＜センター内観察園にて＞

富士山の「知識」を深め、環境保全の「意識」を育むことを目的に、学習支援として環境学習会を行っています。私たち富士山レンジャーは年間250日ほど富士北麓地域を巡回しており、出逢えた動植物達、身近に仰ぎ見る四季折々の富士山の姿、残念で悲しいゴミや不法投棄等を、記録として日々写真に収めています。その撮影した写真を用いて、なるべくわかりやすく、楽しんで学んでいただけるよう、工夫を凝らした内容を気持ちに込めてお話をしています。プログラム内容は充実しており、学生を対象とした環境学習会やよろず相談、一般の方や企業様を対象とした環境研修会、地域イベントでの出前講座等も受け付けています。また、レンジャーが在籍する富士山世界遺産センターには観察園もあり、溶岩を直接見て触れるなど、座学では味わえない現地現物の環境学習を体験することができます。



＜県内保育所にて＞

コロナ明けの2023年度、環境教育の更なる推進を図るべく、地元企業や図書館などの公共施設へ積極的に働きかけ、学習会を実施しました。更に、今年度は新たに「富士登山講座」を新設し、今話題の弾丸登山の実態と危険性の話から、富士登山のポイント、装備の話まで、レンジャーならではの視点でお話をしています。また、「環境教育は幼児から」という想いのもと県内の保育所へも、園児の皆さんは興味深く話を聞き、質問も沢山してくれました。

2024年度はセンターでの定期開催に加え、忍野村の森の学習館、富士河口湖町の未来創造館など、地域の子供達が集まる場所をお借りし、移動教室的学習会を開催する予定です。
今後も引き続き環境教育に力を注ぎ、美しい富士山を未来に引き継ぎたいと願うレンジャーです。

新任レンジャー紹介

鬼頭 宏和 レンジャー

この度、富士山レンジャーを拝命いたしました鬼頭宏和です。よろしくお願ひします。

山や自然に興味を持ったのは長野県で過ごした学生時代のことでした。知り合いに誘われるまま、山に登った事もないのに自然保護指導員として北アルプスに入り、よくわからないままに一ヶ月仕事を始めたのが始まりです。同時に写真も撮り始め、信州、そしてその後に移り住んだ富士山麓では静岡、山梨の山を、カメラを担いで歩きました。



富士山には、最近五合目より下の森に入ることが多くなりました(歳のせいかな？)。そこで、いまさらながら貴重な自然が残されていることを知り、その森を守り育てる仕事をしたという思いが強くなりました。
これから富士山レンジャーとして働けることを楽しみにしています。

谷田 静夫 レンジャー

始めまして！この度、富士山レンジャーとして着任しました谷田静夫です。

富士山は、日本人にとって特別な山であることは皆さんも知っての通りです。富士山を眺めていると内なる心がとても穏やかに、なにか澄んだような心持になるのは私だけでしょうか。

いろいろな山に登り、その頂から遠く富士の姿を眺めるたびに綺麗だと思ふ気持ち。

そんな富士山に関わる仕事である富士山レンジャーとして勤務できることに心からワクワクしています。

国内外の多くの皆さんが富士山に楽しく接していただけるようにレンジャーとして、何ができるのか？私なりに考え行動していきたいと思っています。宜しくお願ひ致します。



富士山世界遺産センターだより24号

■富士山の日記念行事

皆さんご存じの通り、2月23日は富士山の日でした。県内各地で様々なイベントが催されました。富士山世界遺産センターでもいろいろなイベントを実施しました。今回来館できなかった方もいるかと思いますが、毎年イベントを企画実施していますので、今後モチエックしてみてください。

●2月21日～25日

2施設企画クイズラリー

山梨県富士山科学研究所と山梨県立富士山世界遺産センターを見学してクイズにチャレンジ。クイズ用紙に2施設両方のスタンプを押してもらい、期間中に用紙を持参した方には記念品をプレゼントするイベントです。この企画も恒例になりました。今回も大変好評で、たくさんの方に参加していただきました。先着50名様に記念品をお渡ししました。



●2月23日

缶バッチづくり

富士山の日当日は、当センター南館内で缶バッチづくりを行いました。こちらも毎年行っている企画です。デザインも様々で、いろいろな缶バッチを作ることが出来ます。

毎回たくさんの方に参加いただき、思い思いに富士山に色をつけたり、言葉を入れたり、自分だけのオリジナル缶バッチを作ることが出来ます。

2023年、は富士山世界遺産登録10周年でした。全国各地で記念イベントがたくさん催されました。当センターでも10周年記念缶バッチを作成し、多くの皆さんから好評いただきました。このデザインは今回で終了となりますが、今後も新たなデザインを考えていきたいと思います。



■富士山世界遺産ガイド会

皆さん、富士山世界遺産センターには富士山世界遺産ガイド会というのがあるのをご存じですか。当センター南館は世界遺産に関わる展示をしています。それらについて解説をしていただけるガイドの方々がいいます。来館いただいた方々に、より深く展示を理

解していただきたいという願いから設立されました。現在ガイド会に登録されているのは58名います。ガイドを利用する際には、まず当センターのHPに利用日にガイドが何名いるのかを確認してもらいます。または電話等でお問い合わせください。事前の御予約も受け付けています。他には、来館した際に南館のインフォメーションに申し出てもらうと対応することが出来ます。ガイドの利用には一切費用はかかりません。是非御活用ください。



●高校生ガイドが誕生

先に述べた当センターのガイド会は毎年新たなガイドを募集し、養成講座を開き、ガイドを育成することで、より多くのお客様へ対応できるよう努めています。今年度も、新たなガイド5名が加わるようになりました。そのうち4名は高校生です。富士山のこと、世界遺産のことに関心を持ち、富士山の世界遺産についてもっと発信していきたいと努力を重ね、今回無事富士山世界遺産ガイドとして認定されることとなりました。

まだまだ経験は浅く、ガイドとしても未熟な部分はあるかもしれませんが、彼ら彼女らの気持ちは、先輩ガイドの方々にも負けないものがあると思います。是非暖かく見守っていただければと思います。

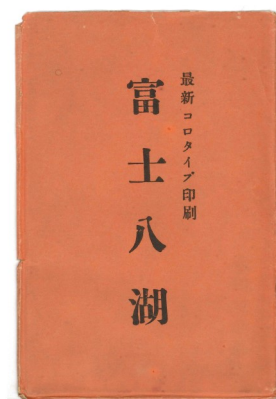


富士山世界遺産センターだより24号

一〇〇年前の富士山の観光
(3) 絵葉書になった「富士八湖」

二〇世紀前半の富士山では、風景や名所を写した絵葉書が盛んに作られていました。今回は、その中から絵葉書「富士八湖」(写真1、以下「富士八湖絵葉書」)を紹介しましょう。製作年は未詳ですが、表面(宛名・通信面)の書式から、大正七年(一九一八)から昭和八年(一九三三)年までと推定されます。

「富士八湖」は富士山麓にある八つの湖で、富士講はこれを「内八海」と呼び巡拝していました。霊場としての内八海は、基本的には、今日「富士五湖」と呼ばれる山中湖、河口湖、西湖、精進湖、本栖湖に加え、明見湖(富士吉田市)、四尾連湖(市川三郷町)と、須戸湖(静岡県富士市)または泉瑞(富士吉田市)の八つの湖沼を指しました。



▲写真1 「富士八湖絵葉書」の袋

△「箱根芦ノ湖の富士」
「富士八湖絵葉書」は八枚組の絵



▲写真2 「(富士八湖)箱根芦ノ湖の富士」
(「富士八湖絵葉書」の一枚)

葉書で、富士五湖に加え、「箱根芦ノ湖」(「志比礼湖」)、「浮島沼」(須戸湖があるとされた)の八つの湖沼を「富士八湖」として取り上げています。

芦ノ湖(写真2)は、富士講においては内八海ではなく、琵琶湖などと同じ「外八海」に含まれるのが一般的でした。それにもかかわらず、芦ノ湖が富士八湖として紹介されたのはなぜでしょうか？

「富士八湖絵葉書」においては、富士山麓と箱根を併せて一つの観光地としてみなす考え方に基つき八湖が選定されていたのかもしれない。また、所収の八葉はすべて湖の背後に富士山が大きく写る構図が採用されており、このような写

真は南側に尾根が横たわっている明見湖では撮影できなかったと考えられます。

△「志比礼湖ノ富士」

「富士八湖絵葉書」の一枚は「志比礼湖ノ富士」(写真3)という四尾連湖の名を冠したものです。

しかし、実際の四尾連湖は富士山から遠く、周囲の山々で遮られているため、写真4のような景色は見られないと考えられます。同時



▲写真3 「(富士八湖)志比礼湖の富士」
(「富士八湖絵葉書」の一枚)



▲写真4 絵葉書「官幣大社浅間神社奥宮境内の遠望(西湖)」

つまり「志比礼湖ノ富士」は四尾連湖からではなく、西湖から撮ったものと考えられます。

四尾連湖の実景よりも西湖の富士山の方が絵葉書に適していると判断されたのかもしれませんが。

△景勝地としての「富士八湖」

前回までで述べた通り、二〇世紀初頭の富士山では、信仰以外の目的で来た人々も、富士講が巡拝した場所を観光地として訪問していました。元来は信仰の対象であった「内八海」も、二〇世紀になると富士山と湖を組み合わせた風景が鑑賞できる景勝地「富士八湖」として注目され、その結果、今回紹介したような絵葉書が製作されたと考えられます。

しかし、既に述べたように、「富士八湖絵葉書」では内八海のうち明見湖は芦ノ湖に変更され、四尾連湖は実景とは異なる景色が紹介されていました。富士講の霊場である内八海の風景は、そのままでは絵葉書にはならなかったといえます。近代的な観光のニーズに対応するために、富士講の霊場としての内八海の枠組みを崩していく必要が生じていた可能性があります。

(学芸員 千原鴻志)

第21回 富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～入賞・入選作品展

以下の日程で、入賞・入選作品200点の作品展を行います。富士山への様々な思いにあふれた年賀状をぜひ会場でお楽しみください。

2月15日(木)～2月26日(月)	山梨県立富士山世界遺産センター南館(富士河口湖町)
3月1日(金)～3月20日(水)	三ツ峠グリーンセンター(西桂町)
3月22日(金)～4月10日(水)	山中湖温泉紅富士の湯(山中湖村)
4月12日(金)～5月13日(月)	河口湖ショッピングセンターBILL(富士河口湖町)
5月15日(水)～6月2日(日)	道の駅なるさわ(鳴沢村)
6月5日(水)～6月24日(月)	ふじさんミュージアム(富士吉田市)
6月29日(土)～7月30日(火)	身延町総合文化会館(身延町)
8月1日(木)～8月30日(金)	山梨中央銀行本店(甲府市)
9月5日(木)～9月17日(火)	御殿場市民交流センターふじざくら(静岡県御殿場市)
9月19日(木)～10月7日(月)	四季の杜おしの公園小池邦夫絵手紙美術館(忍野村)
10月10日(木)～10月30日(水)	富士河口湖町役場(富士河口湖町)
11月1日(金)～11月24日(日)	韮崎市立大村記念図書館(韮崎市)
12月4日(水)～12月19日(木)	静岡県富士山世界遺産センター(静岡県富士宮市)
12月20日(金)～令和7年1月7日(火)	山梨県立富士山世界遺産センター北館(富士河口湖町)

※各会場の休業・休館日や開館・営業時間に関しては、各会場にお問い合わせください。

https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/topics/no21_kinga_top.html



富士山環境学習支援プログラムのお知らせ

富士山ボランティアセンターでは、多くの人が富士山とふれあい、知識を深め、富士山を愛する心や環境保全の意識を育むことを目的とした、富士山レンジャーによる富士山学習の支援事業を実施しております。交通費や謝礼は一切必要ありません。各種研修にぜひご活用ください。

※本編に幼稚園・保育園で開催した学習会の様子を掲載しています。そちらもぜひご覧ください。

実施日・時間	原則として平日の毎日(年始年末を除く)9時30分～16時30分の時間帯30分～90分
対象	地域住民、各種団体、企業等、児童、生徒、学生(教員向け研修もあります)
定員	最大80名まで(プログラムの内容により異なります。)
申込み	原則として希望日の1か月前までにお申込みください。

※詳細は下記よりご確認ください。

<https://www.yamanashi-kankou.jp/fujisan/manabo/manabo001/index.html>



富士山憲章(行動規範)

- 一 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 一 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 一 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 一 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 一 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日 山梨県・静岡県

富士山憲章は、富士山の自然環境等の保全の理念や環境保全のための行動規範を示すことにより、富士山の環境保全への協力を訴え、国民的な規模で保全運動の展開を図っていくことを目的としています。

■編集・発行 富士山ボランティアセンター (富士山憲章山梨県推進会議)

山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1
(富士山世界遺産センター北館内)
TEL: 0555-20-9229 FAX: 0555-72-4114
E-MAIL: fujisan@eps4.comlink.ne.jp

本誌のバックナンバーは下記よりダウンロードできます。

<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/newsletter/index.html>

富士山環境保全関連イベントのメールマガジン「富士の国やまなし観光ネット 富士の国やまなしメールマガジン」は3月31日で終了です。ご愛読ありがとうございました。4月からの富士山環境保全関連イベントは富士山ボランティアセンターホームページにアクセスください。

<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/>